

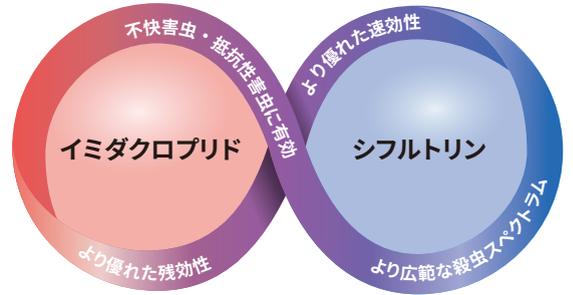
不快害虫駆除用殺虫剤 医薬用外劇物

テンプリド[®]

SC

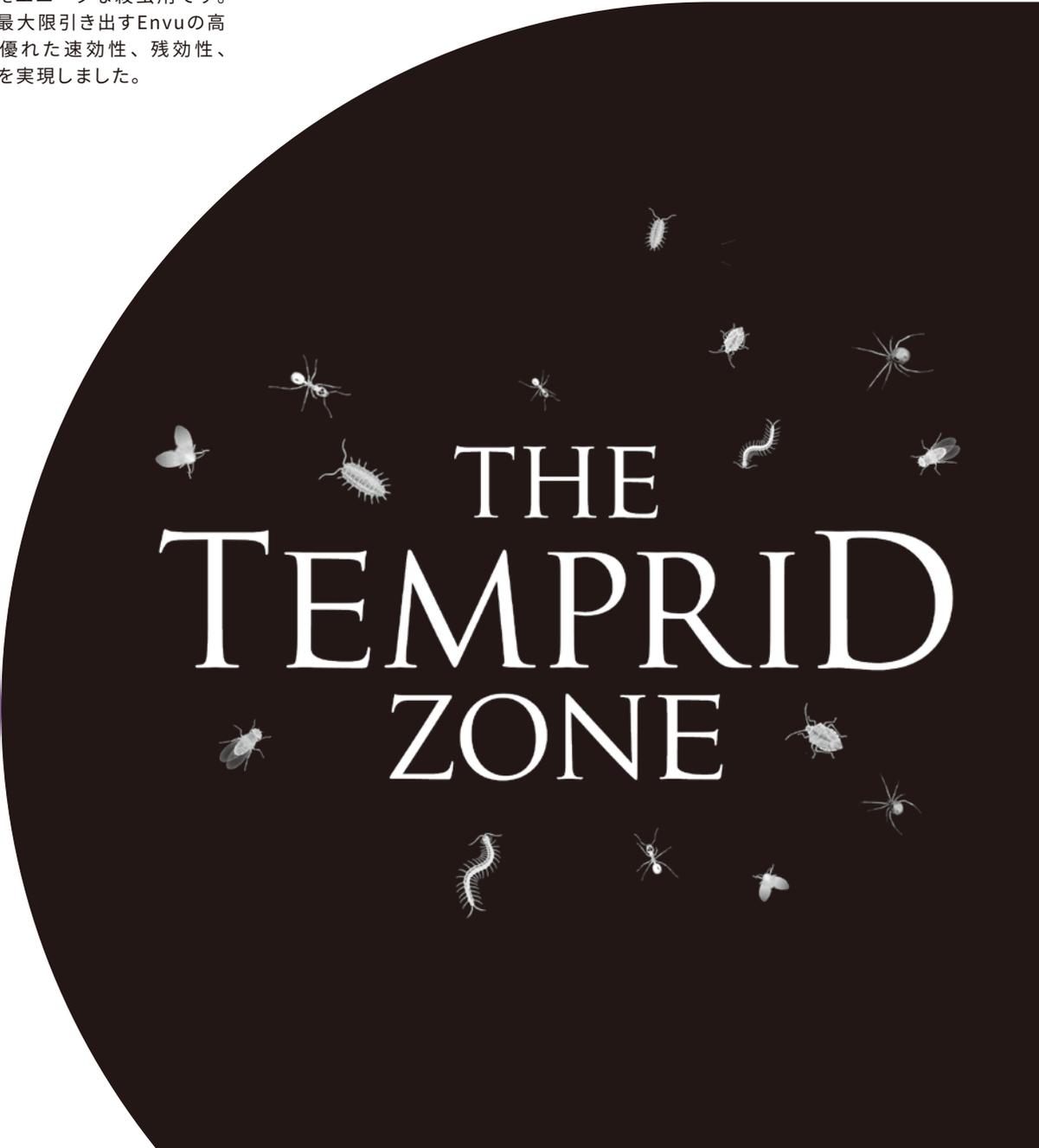
テンプリドゾーン
害虫のいない、クレームの少ない
新しい世界へ

医薬用外劇物



テンプリド SC は 2 つの殺虫有効成分、イミダクロプリドとシフルトリンを配合したユニークな殺虫剤です。それぞれの殺虫成分の力を最大限引き出すEnvuの高い製剤技術によって、より優れた速効性、残効性、より広範な殺虫スペクトラムを実現しました。

登録商標 第5913572号



害虫のいない、クレームの少ない新しい世界へ

米国のPCO3,600社以上を対象にした調査において、テンプリドSCを使用することにより、クレーム発生頻度が全社平均50%以上削減されたとの結果を得ています。

テンプリドSCの特長

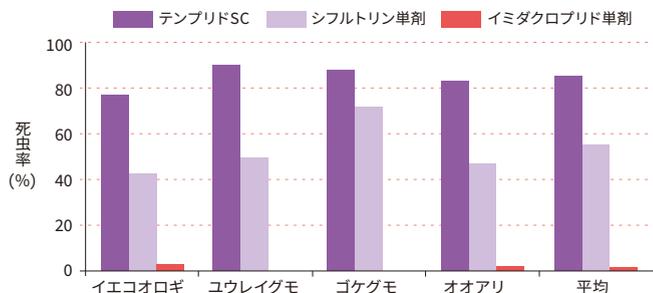
① 2つの作用機作で、難防除の不快害虫や抵抗性害虫にも有効

試験内容 テンプリドSC、シフルトリン単剤、イミダクロプリド単剤の室内試験結果の比較(木材処理面24時間接触後の死虫率)

試験結果 全ての害虫種において、テンプリドSCは、それぞれの単剤、及び、単剤同士での死虫率を合計したものよりも、更に上回る死虫率となった。

考察 テンプリドSCでは、単なる2つの成分の足し算ではない相乗効果が得られるということがわかった。

例:「テンプリドSCの平均死虫率86%」>「(イミダクロプリド単剤の平均死虫率1%)+(シフルトリン単剤の平均死虫率55%)」

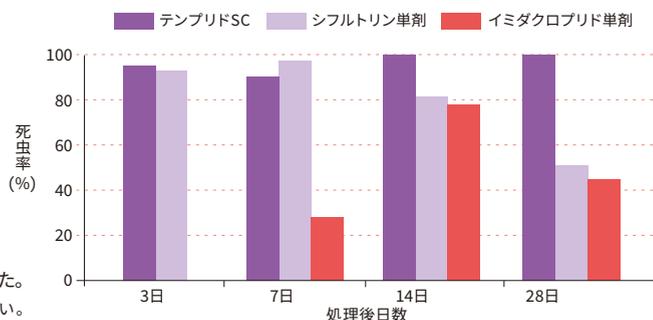


② より優れた速効性、残効性

試験内容 樹木に生息するオオアリに対するテンプリドSCの効果試験 (クロオオアリに被害を受けている樹木表面及び周辺蟻道への処理)

試験結果 散布前の樹木を上下する一定時間当たりの職蟻を数え、処理後の数を比較した。シフルトリン単剤は速効効いたが、14日以降は効果が減じた。イミダクロプリド単剤は効果発現までに7日以上かかった。テンプリドSCは効果も速く現れ、1カ月弱の持続効果が認められた。

考察 テンプリドSCは、クロオオアリに対して、速効性と残効性を兼ね備えた効果を示した。
注) 米国における試験結果。日本国内では樹木保護の目的で本剤を使用しないでください。



③ 広範な殺虫スペクトラム

対象害虫	効果	対象害虫	効果	対象害虫	効果	対象害虫	効果
アリ類	◎	クモ類	◎	シミ	◎	キクイムシ類	◎
ゲジ	◎	チョウバエ類	◎	トビムシ類	◎	カンザイシロアリ類	◎
ムカデ	◎	ノミバエ類	◎	ダンゴムシ類	◎		
ヤスデ	◎	ショウジョウバエ類	◎	ワラジムシ類	◎		
カメムシ類	◎	クロバネキノコバエ類	◎	スズメバチ	◎		

◎: 優れた効果 ○: 効果あり △: 効果不十分 ×: 効果なし

④ HACCP認証取得

テンプリドSCはHACCP認証を取得しています。HACCPに基づく衛生管理を行う施設での使用において、認証品であることを謳えますので、食品工場や飲食店等、食品を扱う施設のお客様にとって、Envuの殺虫剤の安全性をご理解いただきやすくなります。



殺虫剤のHACCP認証について
Envuの殺虫剤はHACCP International社のHACCP認証を取得しました。HACCP International社では、世界保健機関(WHO)の定める国際食品規格にて規定されている、HACCPの原則に基づく衛生管理手法に則り、製品やサービスのHACCP認証を行っています。

● 成分及び分量

本剤100g中、有効成分イミダクロプリドを21.0g、有効成分シフルトリンを10.5g含むフロアブル製剤、その他(水、界面活性剤等)

● 対象害虫

アリ類、コバエ類(チョウバエ、ノミバエ、ショウジョウバエ、クロバネキノコバエ)、シミ、ゲジ、ヤスデ、スズメバチ、クモ類、トビムシ類、ダンゴムシ類、ワラジムシ類、ムカデ類、カメムシ類、キクイムシ類、カンザイシロアリ類、その他不快害虫

● 効能又は効果

屋内棲息・屋外棲息の不快害虫の防除。木材害虫の防除

● 用法・用量

目的に応じて、製品に添付されているラベルの用法及び用量に従い水で希釈し、一般に害虫の棲息又は発生場所に対して使用する[通常:200~400倍(50mL/m²)、広範囲防除:1000倍(100mL/m²)]。必要に応じて市販の起泡剤を使用してフォーム希釈液として使用する。(用法・用量の詳細は製品ラベルまたはEnvuのホームページでご確認頂けます。)

